

2024年2月16日

各位

会社名 Kudan 株式会社
代表者名 代表取締役 CEO 項 大雨
(コード番号 4425 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 中山 紘平
(TEL. 03-4405-1325)

モバイルロボット開発キット発売のお知らせ

当社は、この度 KudanSLAM を活用したモバイルロボット開発キット (Mobile Robot Development Kit、以下 MRDK) の発売を開始したことをお知らせいたします。

記

1. 製品販売に至るまでの経緯および本製品の内容

当社はこれまで、自律走行ロボットや車両向けに、システムの中核技術となる自己位置推定のための KudanSLAM を提供してきました。今回提供を開始する MRDK は、顧客が KudanSLAM を採用した顧客製品の開発・試験運用の期間を短縮し、また直接製品として実用化も可能なパッケージであり、Kudan 技術によって顧客の製品課題を非常に効率的に解決できるようになります。

これまで、MRDK は、2023 年より顧客を限定して試験的に導入をしてきましたが、顧客からの好評を重ねたことで、今回市場への本格導入を開始しました。ロボットの分野ではすでに 3 件の顧客製品化^{*1}を達成しておりますが、今後継続的に拡大していく顧客製品化を MRDK によって大きく後押しすることを見込んでおり、これまで困難だった環境における自律走行ロボット・車両製品の実現と、当社技術の普及を目指していきます。

MRDK の概要

- Kudan 独自の技術 (GrandSLAM) によって、高度なセンサフュージョンを実現し、複雑で困難な環境にて実用性の高い自律走行を実現する
- シンプルなハードウェア構造に対して、多様な組み合わせのセンサ構成 (Multiple camera, 2D/3D LiDAR, IMU, GNSS, WO 等) を選択可能
- プロセッサ一体になっており処理システムも含めて包括的なパッケージを実現
- すでに顧客が開発しているシステムと容易に統合が可能

MRDK を用いることのメリット

- これまでの技術では、ロボットや車両の自律走行を導入できなかった環境（難易度の高い屋内、屋外、公道など）にて、高精度かつロバストな自己位置推定を提供
- 自動走行ロボットの運用に伴う手動作業や保守作業を従来比で最大 90%削減可能となり、省人化・無人化に直結する顧客製品を実現可能
- 複雑なセンサフュージョンが必要となる自己位置推定の評価・開発期間とコストを従来比で 80%以上削減可能
- 複雑な開発をすることなく、ロボット製品の実証試験やパイロット導入による事業開発を実施することができ、少数ロットであればそのまま製品としてリリースが可能。その結果として、顧客の事業機会と社会実装の機会を早めることが可能

MRDK を適用可能なケース^{※2}

- 産業用 AMR の自律走行
- フォークリフトの自律走行・位置検知
- 物流ロボット・車両の自律走行
- ドローンの自律飛行
- 自動車の自動運転



※1 顧客製品化は、当社の直接顧客が当社技術を製品に採用し、その顧客製品のリリースが決定される案件の転換点になります。

※2 ただし、用途によっては当社によるカスタマイズ・技術サポートが必要になります

2. 本製品の販売開始時期

2024年2月16日

3. 本製品の企業化のために特別に支出する額

新製品の販売開始のための特別な追加支出はなく、主に人件費等による研究開発費となって

おります。

4. 今後の見通し

本製品リリースによる当社業績への影響は現時点では軽微と見込んでおります。今後の当社業績に与える影響は本製品の販売次第となるため、今後製品販売増等により当社業績への影響が大きくなると見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

【Kudan株式会社について】

Kudan は、人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とする Deep Tech（ディープテック）の研究開発企業です。人工知覚（AP）は、人工知能（AI）と相互補完する技術として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan は高度な技術イノベーションによって幅広い産業にインパクトを与える Deep Tech に特化した独自のマイルストーンモデルに基づいた事業展開を推進しています。

詳細な情報は、Kudan のウェブサイト (<https://www.kudan.io/jp/>) をご参照ください。

■会社概要

会社名： Kudan株式会社
証券コード： 4425（東証グロース）
代表者： 代表取締役 CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)